

脳ドックのガイドライン検証研究助成金申請書

研究タイトル：

脳ドックにおける認知機能検査普及のための認知機能スクリーニングアプリ (CADi2) の windows 版作成と普及

代表研究者：

島根大学医学部内科学講座内科学第三 山口修平

目的：

2014 年度の脳ドック認定施設条件に認知機能検査が必須化されたが、現在ではまだ 40%前後の実施率にとどまっている。我々は iPad バージョンの認知機能スクリーニング検査 (CADi2) を開発した¹⁾。CADi2 では心理士等の訓練された検査者を必要とせず、被験者のプライドも保ちながら、5 分程度の所要時間で検査が可能である。昨年度、31 カ所の全国脳ドック施設で CADi2 の脳ドックでの有用性を検討した。その結果、従来の認知機能検査と比較的良好な相関を得、使用感の満足度も高く脳ドックでの有用性が示唆された。

しかし現在の所、CADi2 は iPad 上で動作するのみでその普及に限界がある。windows の一般の普及率を考慮すると、Windows OS 上で動作するアプリの有用性は大きいと考える。本研究では、これまで認知機能検査を行っていない施設に CADi2 の普及をはかるため、iPad バージョンの CADi2 を Windows バージョンに移植し、Windows Store に登録、配布しその普及をはかる。

方法：

CADi2 は iOS アプリであり、を Windows OS (Windows 10 および Windows mobile 10) 上でも動作するユニバーサルアプリとして再開発する。この開発は、CADi2 を windows に移植することで行う。最終的に完成したアプリは Windows Store に公開し、無料でダウンロード可能なようにする。脳ドック施設に広報し、その普及率を年度末に集計し、前年度と比較する。

研究の意義：

windows 版の普及を図ることで、より多くの脳ドック施設で認知機能検査が実施可能となることが期待出来る。

経費：

項目	単価 (含消費税)	個数	合計
アプリ開発費	1,000,000	1	1,000,000
Windows タブレット	100,000	1	100,000
合計		2	1,100,000

参考文献

1) Onoda K, Hamano T, Nabika Y, Aoyama A, Takayoshi H, Nakagawa T, Ishihara M, Mitaki S, Yamaguchi T, Oguro H, Shiwaku K, Yamaguchi S. Validation of a new mass screening tool for cognitive impairment: The Cognitive Assessment for Dementia, iPad version (CADi). Clinical Interventions in Aging, 8: 353-360, 2013